令和４年 12 月 14 日

釜石市議会議長　木　村　琳　藏　様

釜石市議会経済常任委員会
委員長　平　野　弘　之

行政視察報告書

経済常任委員会による行政視察を下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

記

１　日時: 令和４年 12 月１日(木)16:00～
２　場所: ホテルグランシェール花巻 2F 金剛
３　開催内容:釜石港コンテナ航路セミナー2022 in 花巻
・開会
・主催者挨拶（釜石市長）

・祝辞（花巻市商工観光部長）

・来賓紹介

・船社プレゼンテーション

演題：復興、その先へ...不撓不屈の釜石国際コンテナ航路

○ 菊地好幸 氏

南星海運ジャパン株式会社 セールスグループ課長

(1) 南星海運グループの会社案内と歴史

(2) NAMSUNG SHIPPING サービス案内

(3) NAMSUNG 釜石港サービスに関して

(4) 釜石港利用に対するメリット

・企業事例報告

演題：釜石港利用による物流諸問題解決_企業事例報告

○ 柏木靖久 氏

三菱倉庫株式会社 横浜支店 支店長代理 国際輸送事業課長

(1) 三菱倉庫紹介

(2) 物流を取り巻く諸問題

(3) 釜石港積極活用による諸問題解決提案

・基調講演

演題：国際物流の混乱と荷主企業の対策状況

○ 荻原克郎 氏

グローバル物流改善コンサルティングオフィス

(1) コロナ禍で世界の物流に何が起きていたのか

(2) 何故、世界的な港湾混雑、海上輸送の遅延が発生したのか

(3) コンテナ船のスペース不足が海上運賃、航空運賃に与えた影響は

(4) 日本の荷主企業が生産、物流面で受けた影響は

(5) 日本、海外の企業は、この問題、課題にどのように対応したか

(6) 最近の北米航路の混雑状況の変化、何を優先させるのか

(7) 国際海上運賃は、今後どのように変化すると予想されるか

〇所感

・当該コンテナ航路セミナーは、平成 22 年に北上市にて第 1 回を開催。その翌年、平成 23 年は東日本大震災により中止。平成 24 年以降再開し、回を重ねるごとに参加申込者数が増加したものの、コロナ禍が顕在化した令和２年以降、再び中止を余儀なくされ、今回３年ぶり 10 回目の開催となった。３年のブランク、なおかつコロナ禍によって参加者数の減少が危惧されたが、実際、蓋を開けてみれば 176 人もの参加者数が得られ、釜石港コンテナ定期航路に対する関心の高さが伺えた。

・総合的に、釜石港及びコンテナ定期航路への理解が深まったという好感が数多く寄せられたほか、交流会終了後の会場関係者による団結感が高まったことで、当該セミナーは一応の成功を収めたものと考えられる。

以上